

企業経営実態調査結果

飯田市産業経済部工業課

1 調査概要

- (1) 調査期間 令和元年11月1日(金)～令和元年11月27日(水)
- (2) 調査の目的 企業経営状況、雇用形態等を調査し、今後の施策に反映するため。
- (3) 調査対象 製造業を中心に抽出した事業所30社に対して、担当職員が質問票及び企業訪問等によるヒアリングを実施。

―業種別―		―従業員数別―	
機械系 (精密・機器・電子・光学)	19 (63.3%)	10人以下	0 (0.0%)
食品系	7 (23.3%)	11人～30人	5 (16.7%)
その他	4 (13.3%)	31人～50人	4 (13.3%)
計	30	51人～100人	11 (36.7%)
※端数処理により合計は100%にならない。(以下、同)		101人～300人	4 (13.3%)
		301人以上	6 (20.0%)
		計	30

- (4) 調査事項 I 売上(受注)高の動向 II 米中摩擦の影響について
III 雇用について IV 工場増設等について
V 講演会・セミナーについて VI その他
- (5) 回答結果 調査項目別結果のとおり

2 調査項目別結果

I 売上（受注）高の動向

(1) 最近（10月）の月間売上（受注）高は、昨年の同期（10月）の月間売上（受注）高と比べて、どのくらいとなっていますか。

売上（受注）高の状況は、対前年比で「増加」が8事業所（27.6%）、「増加・減少なし」が2事業所（6.9%）、「減少」が19事業所（65.5%）である。【有効回答数29社】
 昨年度11月調査（10月売上）では、「増加」が20事業所（64.5%）、「増加・減少なし」が0事業所、「減少」が11事業所（35.5%）であり、全体として売上増加の企業が減少している。

※数値は事業所数、（ ）内の数値は構成比

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 4割 増加	1			8 (27.6%)
～ 3割 増加				
～ 2割 増加		1		
～ 1割 増加	4	1	1	
増加・減少なし	1	1		2 (6.9%)
～ 1割 減少	3	2	3	19 (65.5%)
～ 2割 減少	6			
～ 3割 減少	1	2		
～ 4割 減少	1			
～ 5割 減少				
～ 6割 減少	1			

(2) 今後(12月)の月間売上(受注)高は、昨年の同期(12月)と比べて、どのくらいになると予想されますか。

12月の売上(受注)高の予想は、対前年比で「増加」が10事業所(34.5%)、「増加・減少なし」が2事業所(6.9%)、「減少」が17事業所(58.6%)となっている。工業系をはじめ、売上の減少が見込まれる企業が多い。【有効回答数29社】

昨年度11月調査では、「増加」が15事業所(48.4%)、「増加・減少なし」が3事業所(9.7%)、「減少」が13事業所(41.9%)であり、本年11月時の方が、売上が減少する見込みの企業が増えている。

※数値は事業所数、()内の数値は構成比

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 6割 増加	1			10 (34.5%)
～ 5割 増加				
～ 4割 増加				
～ 3割 増加				
～ 2割 増加	5		1	
～ 1割 増加		3		
増加・減少なし	1		1	2 (6.9%)
～ 1割 減少	6	3	2	17 (58.6%)
～ 2割 減少		1		
～ 3割 減少				
～ 4割 減少	3			
～ 5割 減少	1			
～ 6割 減少				
～ 7割 減少	1			

(3) 今年（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）の年間売上高は、昨年と比べてどのくらいになると予想されますか。

年間売上高の予想は、対前年比で「増加」が 9 事業所（31.0%）、「増加・減少なし」が 2 事業所（6.9%）、「減少」が 18 事業所（62.1%）となっている。【有効回答数 29 社】
 昨年度 11 月調査では、「増加」が 17 事業所（54.8%）、「増加・減少なし」が 1 事業所（3.2%）、「減少」が 13 事業所（41.9%）であり、今年度年間売上は前年度と比較して、減少すると回答した企業の比率が増えている。

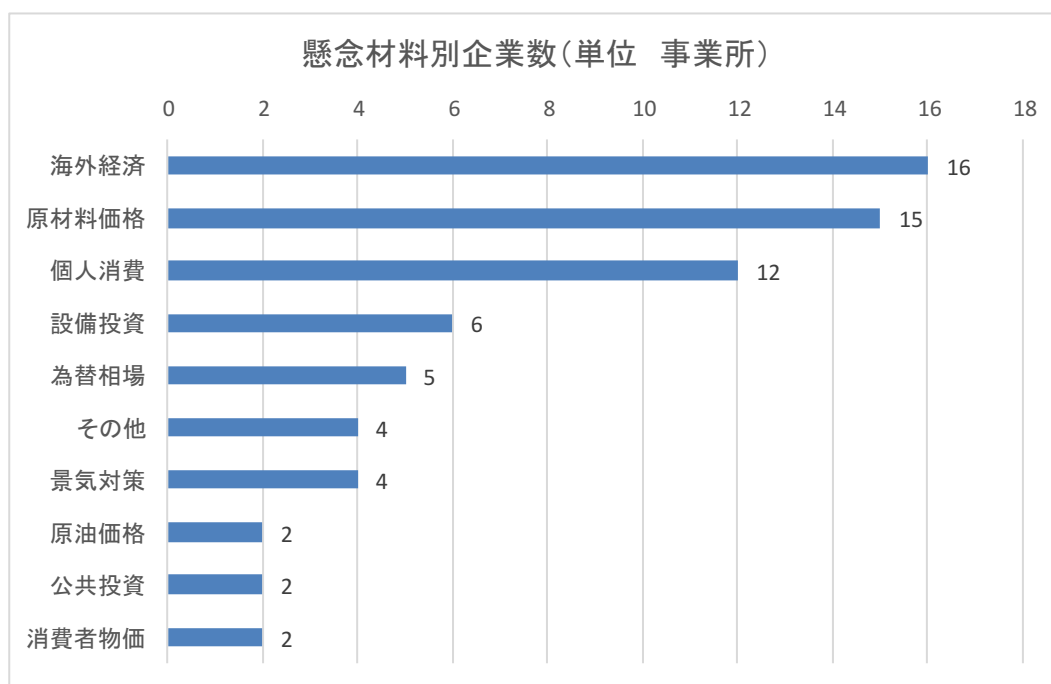
※数値は事業所数、（ ）内の数値は構成比

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 3割 増加	1		1	9 (31.0%)
～ 2割 増加	1			
～ 1割 増加	2	2	2	
増加・減少なし	1		1	2 (6.9%)
～ 1割 減少	8	5		18 (62.1%)
～ 2割 減少	4			
～ 3割 減少	1			

(4) 2～3か月先の業績における動向の懸念材料について、最もあてはまるものについて3つまでお答えください。(複数回答可)

2～3か月先の業績における動向の懸念材料については、「海外経済」が最も多く、続いて「原材料価格」、「個人消費」となった。ここ数年ではじめて「海外経済」が最も多い結果となっており、米中摩擦等の影響を危惧する声が多い。一方で、個人消費などでは増税影響を懸念する声も出ている。【有効回答数 30 社】

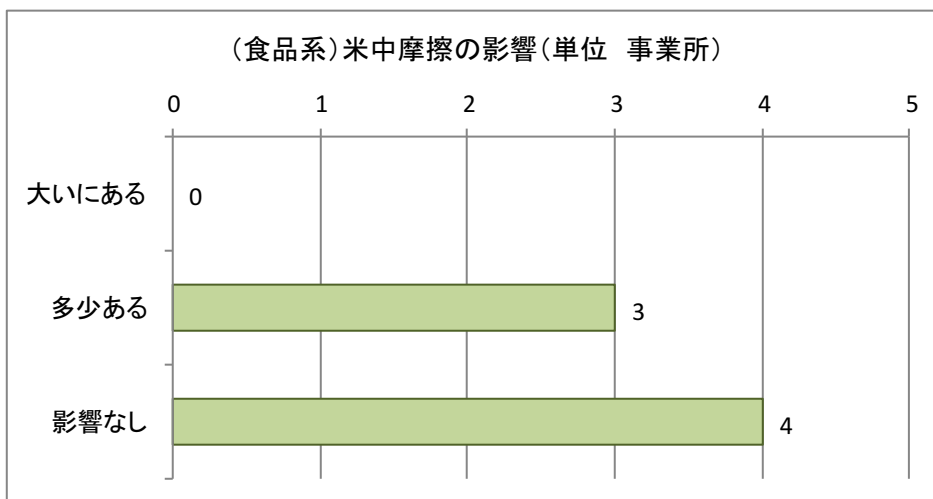
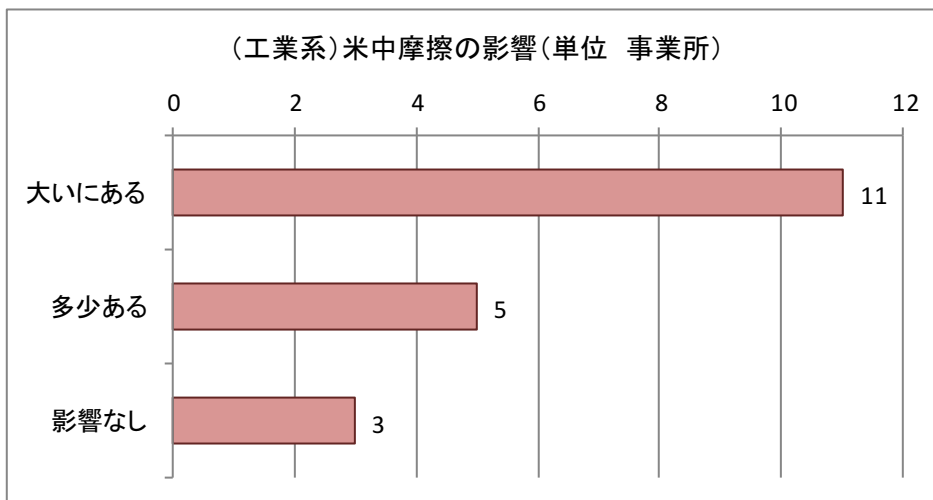
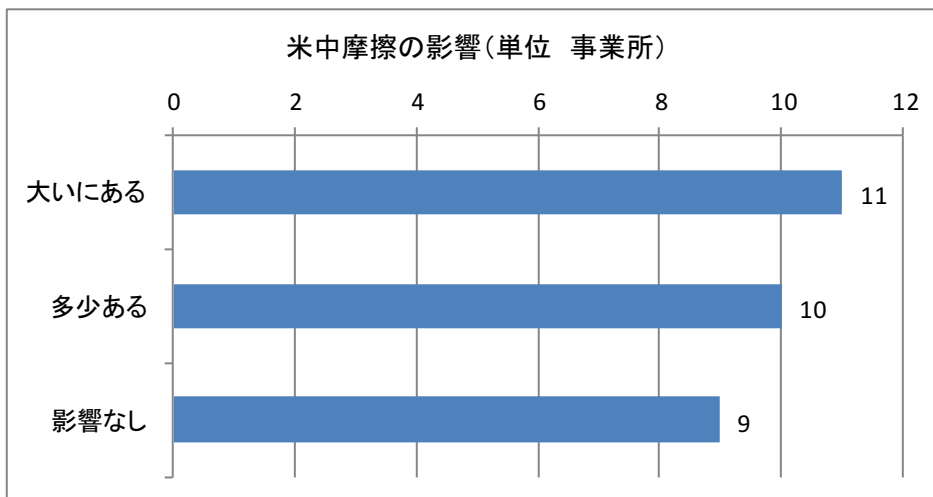
昨年度 11 月調査では、「原材料価格」が最も多く、続いて「海外経済」、「原油価格」、「個人消費」、「為替相場」となった。



Ⅱ 米中摩擦の影響について

(1) 長期化が見込まれる米中摩擦の影響について、影響の大きさを教えて下さい。

米中摩擦の影響について、「大いにある」と回答した企業が11事業所(36.7%)、「多少ある」と回答した企業が10事業所(33.3%)、「影響なし」が9事業所(30.0%)であった。特に「工業系」の企業では影響が大きく、「食品系」では影響が比較的少ないという傾向がみられた。【有効回答数 30社】

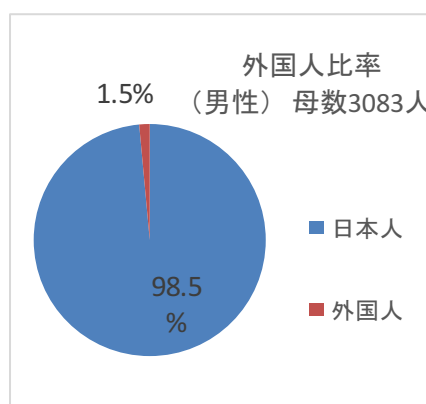
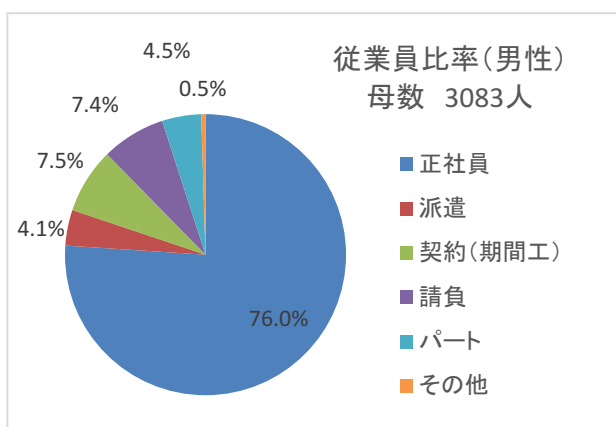


Ⅲ 雇用について

(1) 最近の人員の状況についてお答え下さい。(令和元年11月1日 現在)

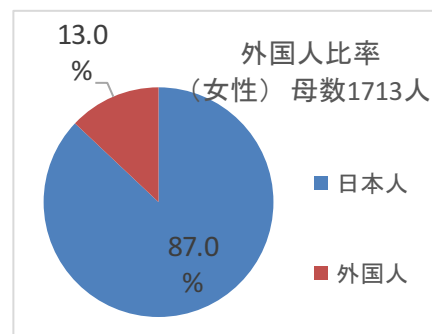
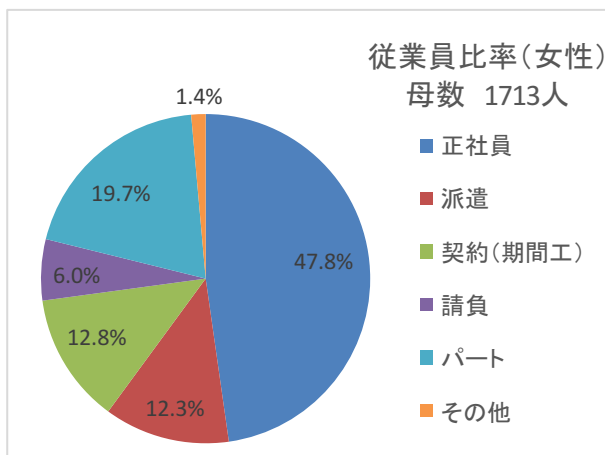
従業員の構成比率について、男性では、「正社員」が最も多く76.0% (2,344人)、続いて「契約(期間工)」7.5% (231人)、「請負」が7.4% (227人)、「パート」4.5% (133人)、「派遣」4.1% (127人)、「その他」は0.5% (15人)である。また、外国人比率は1.5% (45人)となっている。【有効回答数30社】

昨年度11月調査では、「正社員」が最も多く82.4% (2,762人)、続いて「派遣」6.8% (229人)、「契約(期間工)」4.1% (137人)、「パート」4.0% (133人)、「請負」2.2% (72人)、「その他」は0.6% (21人)である。また、外国人比率は1.9% (63人)となっている。



従業員の構成比率について、女性では、「正社員」が最も多く47.8% (818人)、続いて「パート」19.7% (338人)、「契約(期間工)」12.8% (219人)、「派遣」12.3% (211人)、「請負」6.0% (103人)、「その他」1.4% (24人)である。また、外国人比率は13.0% (222人)である。【有効回答数30社】

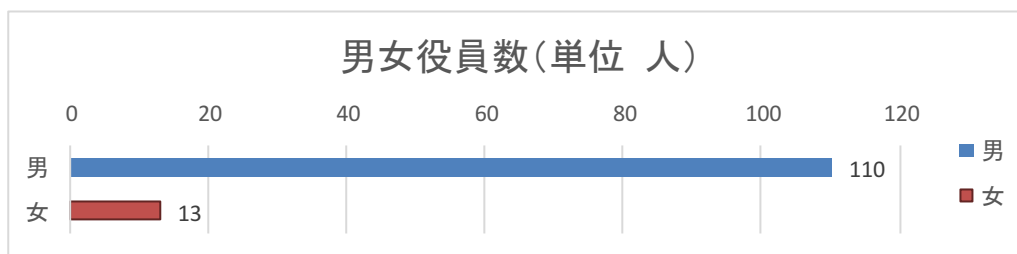
昨年度11月調査では、「正社員」が最も多く50.4% (1,020人)、続いて「パート」17.4% (353人)、「派遣」15.5% (314人)、「契約(期間工)」10.5% (212人)、「請負」5.3% (107人)、「その他」1.0% (20人)である。また、外国人比率は11.5% (232人)である。



(2) 男女役員数についてお答え下さい。

男女役員数について、全体 123 人のうち、男性が 110 人 (89.4%)、女性が 13 人 (10.6%) となっている。【有効回答数 27 社】

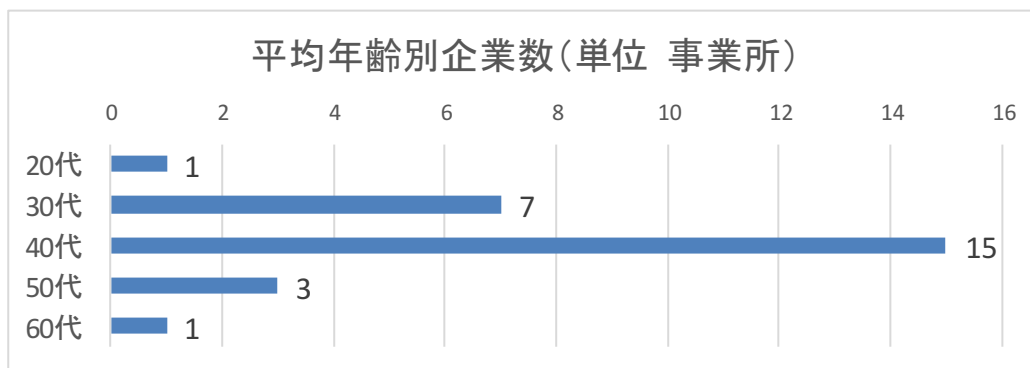
昨年度 11 月調査では、全体 114 人のうち、男性が 102 人 (89.5%)、女性が 12 人 (10.5%) となっている。



(3) 最近の人員の年齢層についてお答え下さい。(令和元年 11 月 1 日 現在)

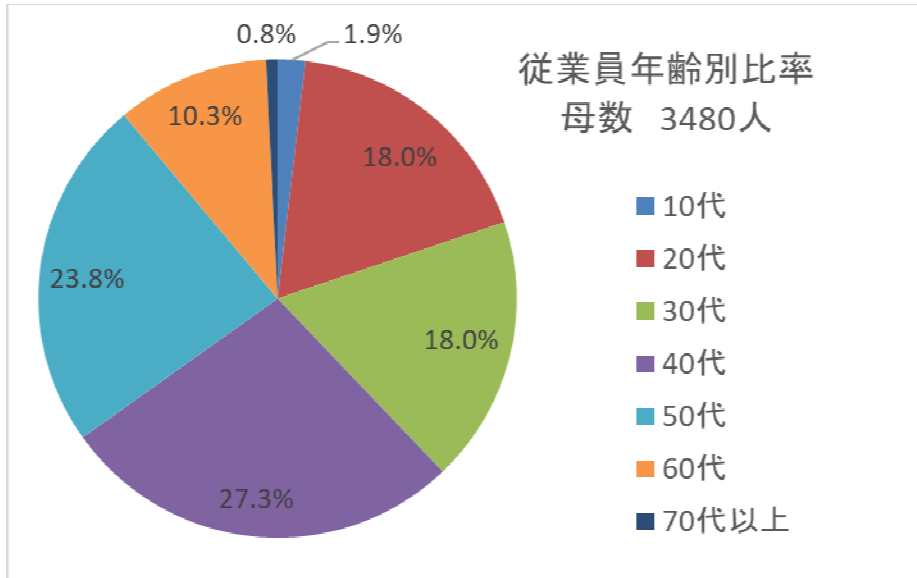
平均年齢別の事業所数では、「20代」が 1 事業所 (3.7%)、「30代」が 7 事業所 (26.0%)、「40代」が 15 事業所 (55.6%)、「50代」が 3 事業所 (11.1%)、60代が 1 事業所 (3.7%) であった。【有効回答数 27 社】

昨年度 11 月調査では、「20代」が 1 事業所 (3.7%)、「30代」が 8 事業所 (29.6%)、「40代」が 15 事業所 (55.6%)、「50代」が 2 事業所 (7.4%)、60代が 1 事業所 (3.7%) であった。



年齢別の従業員数では、「10代」が1.9%（65人）、「20代」が18.0%（625人）、「30代」が18.0%（628人）、「40代」が最も多く27.3%（949人）、「50代」が23.8%（827人）、「60代」が10.3%（359人）、「70代以上」が0.8%（27人）であった。【有効回答数 27社】

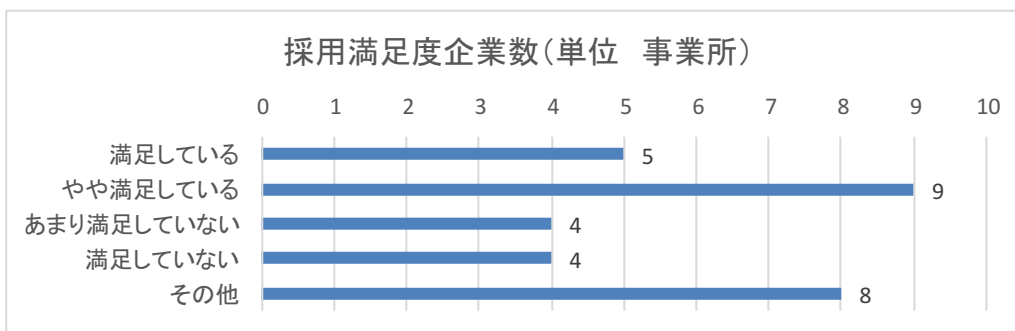
昨年度11月調査では、「10代」が2.4%（100人）、「20代」が20.5%（840人）、「30代」が20.6%（843人）、「40代」が最も多く26.0%（1065人）、「50代」が21.3%（871人）、「60代」が8.7%（355人）、「70代以上」が0.6%（23人）であった。



(4) 採用予定について

①令和元年度の採用者数に対する雇用満足度についてお答え下さい。

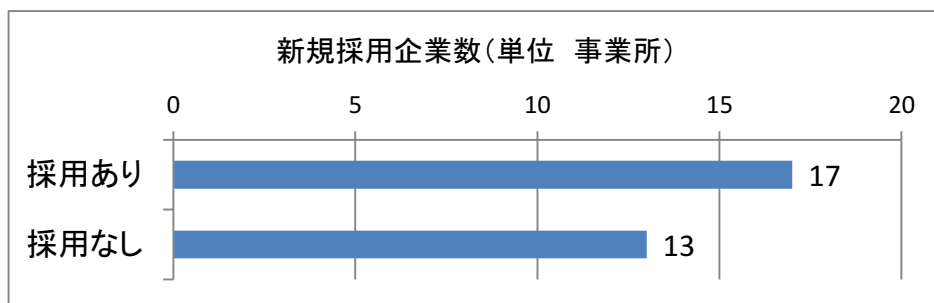
採用者数に対する雇用満足度について、「満足している」と回答した企業は、5事業所（16.7%）、「やや満足している」と回答した企業は、9事業所（30.0%）、「あまり満足していない」と回答した企業は、4事業所（13.3%）、「満足していない」と回答した企業は、4事業所（13.3%）、「その他」と回答した企業は8事業所（26.7%）であった。「その他」では、積極的に採用活動をしなかったという回答が多かった。【有効回答数 30社】



②令和2年4月の採用予定者数は、何人ですか。(採用内定者の状況もお答えください)

「採用あり」と回答した事業所は、17事業所(56.7%)、「採用なし」と回答した事業所は、13事業所(43.3%)であった。【有効回答数30社】

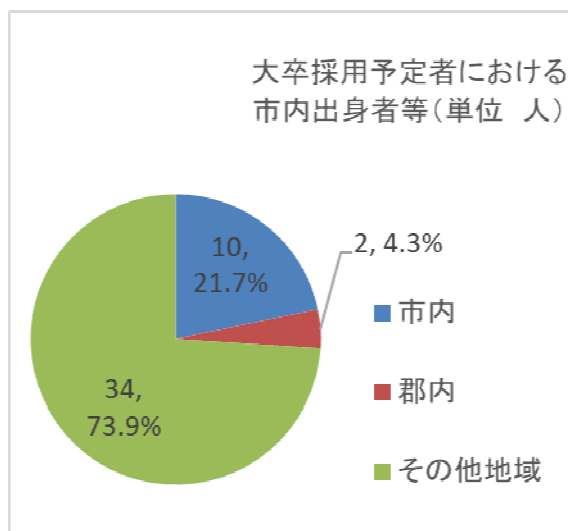
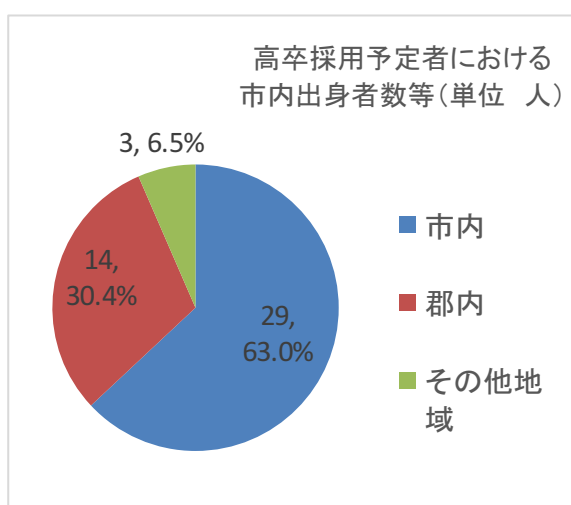
昨年度11月調査では「採用あり」と回答した事業所は、22事業所(68.8%)、「採用なし」と回答した事業所は、10事業所(31.3%)であり、昨年度調査時と比較して、採用なしの企業が増えている。



高卒採用予定者数は69人であり、現在、そのうち66.7%にあたる46人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は29人(63.0%)、「郡内出身者」は14人(30.4%)、「その他地域」は3人(6.5%)であった。一方、大卒等採用予定者は55人であり、現在、そのうち83.6%にあたる46人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は10人(21.7%)、「郡内出身者」は2人(4.3%)、「その他地域」は34人(73.9%)であった。

【有効回答数22社】

昨年11月調査では、高卒採用予定者数は76人であり、現在、そのうち82.9%にあたる63人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は42人(66.7%)、「郡内出身者」は17人(27.0%)、「その他地域」は4人(6.3%)であった。一方、大卒等採用予定者は45人であり、現在、そのうち64.4%にあたる29人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は7人(24.1%)、「郡内出身者」は5人(17.2%)、「その他地域」は17人(58.6%)であった。



(5) 新卒人材獲得に対する取り組みについて、取り組んでいる内容及び困っている点について、自由に記載ください。

- 慢性的に人材不足となっている。
- 可能であれば、全員技術者で採用したいが、実際はほとんど技術者で取れない。
- 毎年新卒者採用に向け学校を訪問している。ただ、社名の認知度が低く、なかなか一次応募がないことが現実である。
- 進路指導の先生回り・企業説明会へ参加している。
- 企業の野球部つながりで応募してくれる。人物もよく定着する。
- 若年層との関わりを増やし、地元の魅力や地元企業について伝えている。
- 飯田市などで実施している「つなぐ事業」へ参加している。チラシを見て、高校の生徒がインターンに来てくれた。
- 飯田市等が主催している「企業展示説明会」には毎年参加している。
- 知名度を上げるためにりんごんなどに参加している。
- 即戦力が欲しいため、高卒人材は募集していない。
- 学校への事前事後のあいさつをしている。
- 中学生職場体験、キャリア教育講師をしている。

(6) 外国人就労者について

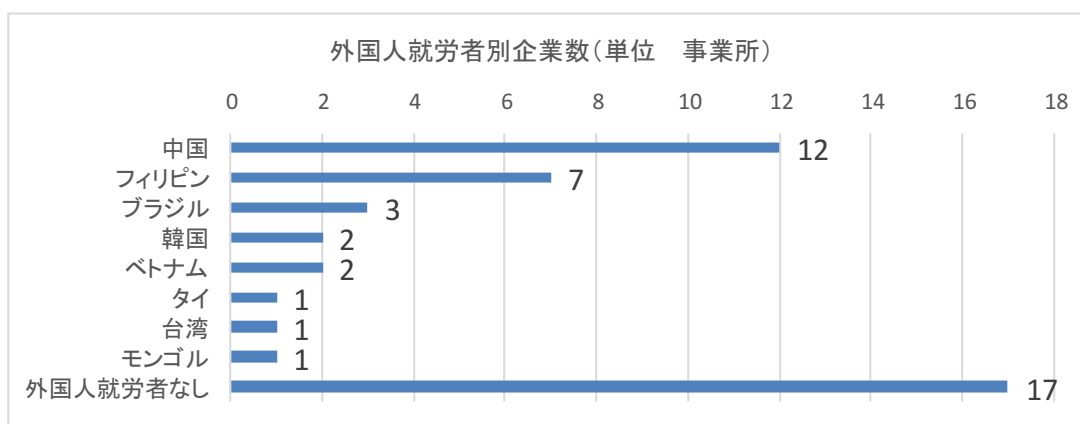
①外国人就労者の国籍はどこですか。(複数回答可)

②外国人就労者の職種はどのようなものですか。

「中国」が最も多く 12 事業所、続いて「フィリピン」が 7 事業所、「ブラジル」が 3 事業所、「ベトナム」「韓国」が各 2 事業所、「タイ」「台湾」「モンゴル」が各 1 事業所であり、「外国人就労者はいない」事業所は、17 事業所であった。【有効回答数 30 社】

昨年度 11 月調査では、「中国」が最も多く 14 事業所、続いて「フィリピン」が 7 事業所、「ブラジル」が 6 事業所、「ベトナム」が 4 事業所、「タイ」が 2 事業所、「韓国」「その他」が各 1 事業所であり、「外国人就労者はいない」事業所は、15 事業所であった。

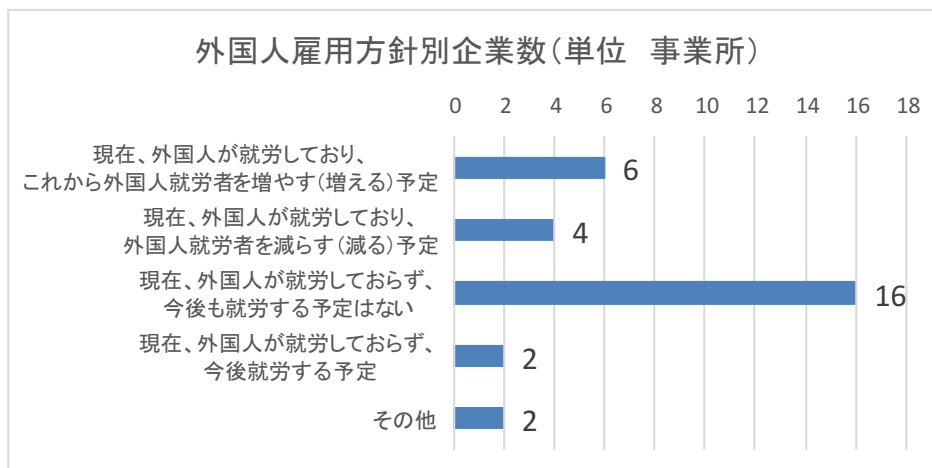
また、外国人就労者の職種としては、製造部署での加工担当、組立・検査員が多く、営業・資材調達を担当する従業員もいる。



③外国人雇用に対する今後の予定を教えてください。

現在外国人が就労している事業所では、「増やす予定」が 6 事業所 (20.0%)、「減らす予定」が 4 事業所 (13.3%) であった。現在外国人が就労していない事業所では、「今後就労する予定」が 2 事業所 (6.7%) であり、「今後も就労しない予定」が 16 事業所 (53.3%)、また、その他が 2 事業所 (6.7%) であった。【有効回答数 30 社】

昨年度 11 月調査では、現在外国人が就労している事業所では「増やす予定」が 10 事業所 (32.3%)、「減らす予定」が 3 事業所 (9.7%) であった。現在外国人が就労していない事業所では、「今後就労する予定」が 0 事業所であり、「今後も就労しない予定」が 14 事業所 (45.2%)、また、その他が 4 事業所 (12.9%) であった。



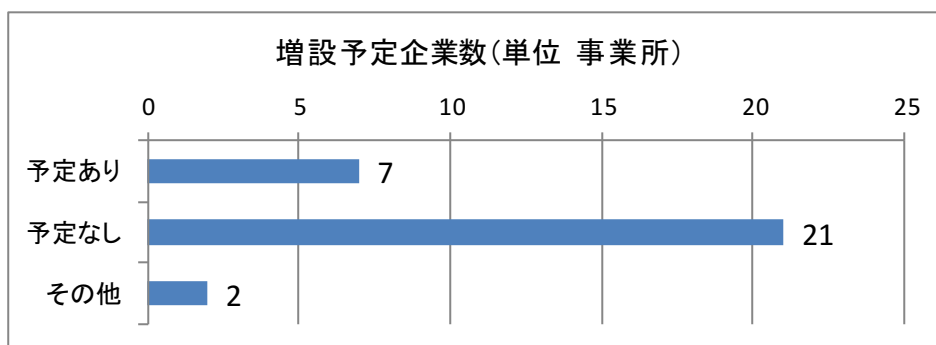
IV 工場増設等について

今後の工場増設の予定について教えてください。

工場増設の「予定あり」の企業は7事業所（23.3%）であり、「予定なし」の企業は21事業所（70.0%）であり、「その他」の企業は2事業所（6.7%）であった。

増設予定の内容としては、工場新設、設備導入に伴う増設などである。【有効回答数 30社】

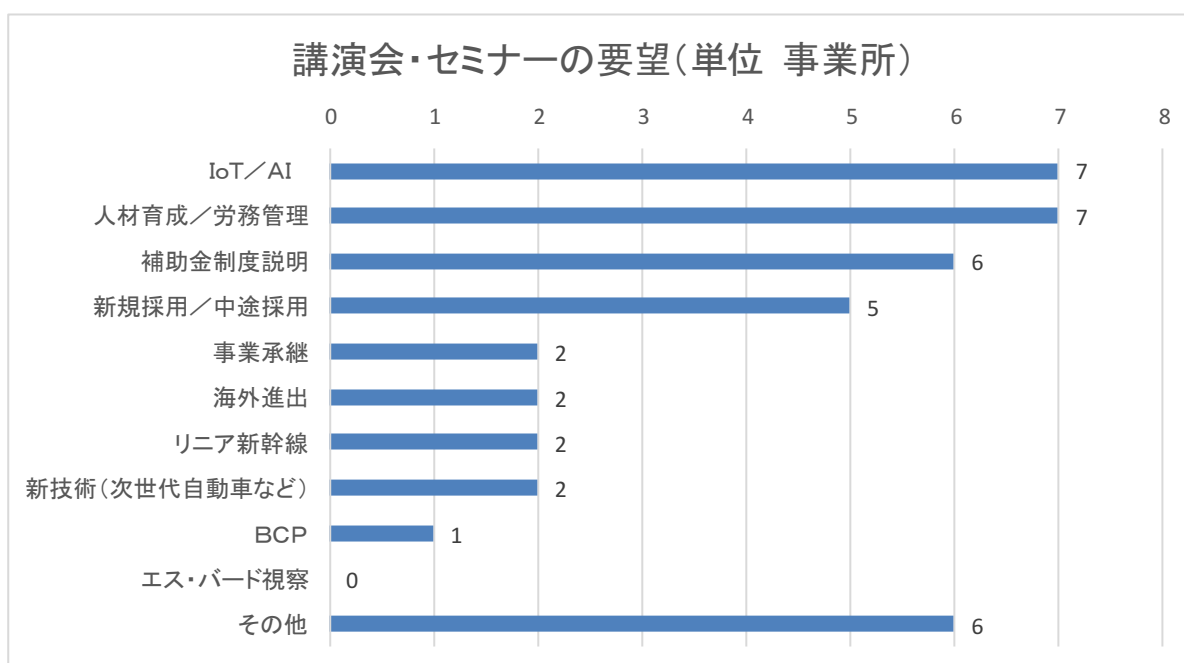
昨年度11月調査では、「予定あり」の企業は10事業所（30.3%）であり、「予定なし」の企業は21事業所（63.6%）であり、「その他」の企業は2事業所（6.1%）であった。



V 講演会・セミナーについて

今後、開催してほしいセミナー・講演会の分野などがあれば教えてください。（複数回答可）

今後の講演会・セミナーに関する要望を調査したところ、「IoT/AI」及び「人材育成/労務管理」へのニーズが最も高く、「補助金制度説明」、「新規採用/中途採用」が続いている。一方、「事業承継」、「海外進出」などへの要望は少なかった。「その他」では個別の技術訓練などに対するニーズがあった。【有効回答数 30社】



VI その他

市への要望等がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

- 地元企業が活発になるような企業や、若者が魅力を感じる新たな企業の誘致をお願いしたい。
- 降雪時などの対応整備などをお願いしたい。
- 飯田市からいい人材が流出してしまい、確保が難しい。企業誘致ではなくまちづくりの観点から検討する必要あり。
- リニア駅の周辺整備（公園等）をする際に協力していきたい。
- エス・バードがもう少し身近に感じられるとありがたい。リニア時代に向けて、期待している。